

THE HOGAKU RONSHU

THE LAW REVIEW
OF
KANSAI UNIVERSITY

MARCH 2016

VOLUME LXV

NUMBER 6

Articles

- The thought of Ikutarou Shimizu in the 1960s.....*Kanji TOKURA* (1)
Morgenthau's legal theory of political disputes (1).....*Taira NISHI* (42)
Reichweite der Drittwirkung (8).....*Emi NISHIMURA* (86)
Community Justice in Cambodia:
Promotion of Reconciliation through
Sharing Memories and Histories.....*Mitsuhide KIMURA* (133)

Case Note

- Zum Nicht-Hindern der Trunkenfahrt mit
Todesfolge—eine Beihilfe zur Verkehrsgefährdung
mit Todesfolge?.....*Hiroki YAMASHITA* (177)

Translations

- Andrew Erueti, The Recognition of Indigenous'
Rights to Traditional Land: The Evaluation of States
by International Treaty Bodies.....*Takeshi TSUNODA* (198)
Mitsuru IJIMA
Michael Pawlik, Das Unrecht des Bürgers (11).....*Hirokazu KAWAGUCHI* (240)
Kazuki YAMAMOTO
Mitsumasa MATSUO

Materials

- Legislation, Penalty, and Judgement
in the Jin Dynasty.....*Haruhito SADATE* (274)

- All Death Sentences in the Supreme Court in 2014.....*Kenji NAGATA* (1)

Book Review

- Beiträge zum Thema „Sonderwissen“
im Strafrecht (1): Günther Jakobs
„Zuständigkeit durch Wissen?“.....*Hirokazu KAWAGUCHI* (282)
Tomoaki MORIKAWA

THE LAW SOCIETY OF KANSAI UNIVERSITY
OSAKA, JAPAN

ISSN 0437-648X

關西大學

法學論集

第65卷 第6号

平成28年3月

論説

- 『現代思想』(1966年)における清水幾太郎.....土倉莞爾(1)
連盟期の国際秩序構想における
モーゲンソー政治的紛争論の意義(1).....西平等(42)
憲法の私人間効力の射程(8).....西村枝美(86)
カンボジアにおける
コミュニティ・ジャスティス.....木村光豪(133)
——記憶と歴史の共有による和解の促進——

判例研究

- 運転者がアルコールの影響により正常な運転が困難な
状態であることを認識しながら行なった被告人の了
解および黙認行為が、危険運転致死傷罪の幫助に
あたるとされた事例.....山下裕樹(177)
——最決平25年4月15日刑集67巻4号437頁——

翻訳

- アンドリュー・エルエティ
「伝統的な土地に対する先住民の権利の承認：
国際条約上の諸機関による諸国家の評価」.....角田猛之(198)
飯島暢一
ミヒヤエル・バヴリック
「市民の不法」(11).....川口浩和(240)
山松本生光

資料

- 金朝の立法・刑罰・裁判.....佐立治人(274)
最高裁において平成二六年に確定した死刑判決一覧.....永田憲史(1)

紹介

- 「特別知識」に関する最近の文献(1).....川口浩一(282)
森川智晶
——Günther Jakobs, 「知識による管轄？」——

關西大學法學會

關西大學
法學論集

第六十五卷
第六号

平成二十八年三月

關西大學
法學會

関西大学法学会役員（五十音順）

会長 葛原力三	柄谷利恵子 川口浩一(編集)	滝川敏明(庶務)	松本哲弘
評議員 浅野宜之(編集)	川口美貴	竹下賢	松元雅和
荒木修	河村厚(編集)	多治川卓郎	眞鍋俊二
粟辻悠(編集)	木下智史	辰巳直彦(庶務)	三浦吉章
飯島暢(庶務)	金玲	津田由美子	村上幸隆
池田慎太郎	権南希(会計)	角田猛之	村田尚紀(庶務)
石橋章市朗	葛原力三	寺川永	元氏成保
市川訓敏	久保宏之	寺島俊穂	森岡安廣
市原靖久(庶務)	栗田和彦	中島洋樹	森本哲郎
今西康人(庶務)	栗田隆	永田憲史(会計)	安武真隆
上田真二	小泉良幸	中野徹也(編集)	大和正史
浦東久男(会計)	後藤元伸	西平等	山名京子(会計)
占部洋之	小西秀樹	西澤希久男	山名美加
大住洋	今野正規	西村枝美	山中敬一
大津留智恵子	坂本治也	馬場圭太	山中友理
大仲土和	笹本幸祐	羽原敬二(会計)	山野博史
大沼邦博	佐立治人	早川徹	山本慶介
岡徹(庶務)	佐藤やよひ(編集)	廣川嘉裕(会計)	由喜門眞治(庶務)
岡本哲和	佐伯和也	福島豪	横田直和
尾島史賢	芝池義一	福瀧博之(編集)	吉田栄司(監査)
春日偉知郎	下村正明	藤原稔弘(会計)	吉田直弘
カリス・アノニス	千藤洋三	松尾知子(会計)	吉田徳夫
	高作正博	松代剛枝	若松陽子

前号目次（第65巻第5号）

論 説	
18歳選挙権について考える……………	土 倉 莞 爾
全部義務者の破産と民法改正……………	栗 田 隆
——一部代位弁済の場合の原債権と求償権の規律を中心に——	
法人学説の再定位……………	後 藤 元 伸
——独任法人論の再読解とミシュエおよびサレイユの法人論・合有論——	
動態的国際法秩序への解釈論的視座（3・完）……………	西 平 等
——カウフマンによる事情変更原則の分析——	
憲法の私人間効力の射程（7）……………	西 村 枝 美
フロイトとスピノザ（Ⅲ-1）……………	河 村 厚
移行期のカンボジアにおける集会の自由の受容と変容……………	木 村 光 豪
——平和的集会法を中心に——	
一日も律無かる可からず……………	佐 立 治 人
——旧中国の罪刑法定主義の国教化——	
翻 訳	
クレア・チャーターズ「マオリに対する受諾者義務と2004年前浜・海底法：比較検討および前浜・海底法によってマオリが失ったもの」……………	角 田 猛 之
ミヒヤエル・パヴリック「市民の不法」(10)……………	飯 島 暢 川 口 浩 一 山 本 和 輝
資 料	
最高裁において昭和二〇年代中葉に確定した死刑判決一覧……………	永 田 憲 史

関西大学法学会規則

- 第1条 本会は、関西大学法学会と称する。
- 第2条 本会は、法学の研究を促進し、かつ研究の成果を発表することを目的とする。
- 第3条 本会は、次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の発行。
 - 2 その他本会の目的を達成するために必要な事項。
- 第4条 本会の事務所は、関西大学法学部に置く。
- 第5条 本会は、次の者をもって会員とする。
- 1 法学部及び大学院法務研究科（以下法科大学院と称す）の教授、准教授、専任講師、助教、特別契約教授。
 - 2 政策創造学部の教授、准教授、専任講師、助教、特別契約教授であって入会した者。
 - 3 法学部、大学院法学研究科、法科大学院、政策創造学部またはガバナンス研究科の非常勤講師であって入会した者。
 - 4 法学部学生、大学院法学研究科学生及び法科大学院学生。
 - 5 政策創造学部の学生であって入会した者。
 - 6 法学部、政策創造学部、大学院法学研究科及び法科大学院の卒業生であって入会した者。
- 第6条 その他評議員会の承認を得た者。
- 第7条 次の者を本会の名誉会員とする。
- 1 法学部又は法科大学院に在籍した名誉教授。ただし、特別契約教授として在職中の者は除く。
 - 2 特に評議員会の承認を得た者。
- 第8条 本会に次の役員を置く。
- 1 会長 法学部長をもって充てる。
 - 2 評議員 教授、准教授、専任講師、助教及び特別契約教授をもって充てる。
 - 3 編集・庶務・会計各委員 評議員の中から評議員会において委嘱する。その任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 第9条 第5条第1号及び2号の会員は会費年額15,000円を、同条第3号から7号までの会員は会費年額6,000円を納めることを要する。
- 第10条 会員及び名誉会員は、機関誌「関西大学法学論集」及び「関西大学法学会誌」の配布を受ける。
- 付則 この規則の改正は、評議員会の決議による。ただし、従前の第8条の規定により平成21年度以降の会費を予め法学会に払込んでいる者については、なお従前の例による。

2016年3月1日 印刷 関西大学 第65巻
2016年3月11日 発行 法学論集 第6号

編集兼 関西大学法学会
発行人 振替 00910-4-66882

印刷所 (株)富山房インターナショナル
東京都文京区千石 2-25-11

発行所 関西大学法学会
大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
関西大学法学部内



関西大学法学論集 第65巻 総目次

論 説	号	頁	通巻頁
破産法と双務契約・片務契約の終了 ——破産手続開始前に解除された 双務契約及び使用貸借契約を中心にして——	栗 田	隆…… 1	(1) (1)
古典的国際法学との対照における 国際政治学的思考の特質	西	平 等…… 2	(1) (333)
カンボジアにおけるヴァナキュラーな人権 ——仏教的価値観に内在する人権の機能的等価物——	木 村	光 豪…… 2	(30) (362)
パスカル・ペリノーの フランス FN (国民戦線) 論	土 倉	莞 爾…… 3	(1) (683)
鏡の国の商業登記	早 川	徹…… 3	(46) (728)
アメリカの難民政策の変遷	大津留 (北川)	智恵子…… 3	(73) (755)
動態的国際法秩序への解釈論的視座 (1) ——カウフマンによる事情変更原則の分析——	西	平 等…… 3	(112) (794)
カンボジアにおける移行期正義の実現に 向けた挑戦 ——カンボジア特別法廷を手がかりとして——	木 村	光 豪…… 3	(138) (820)
過小包摂な規制と厳格審査の基準の下での 目的審査のあり方について ——EMA 事件判決におけるスカリア裁判官 法廷意見を素材として——	金 原	宏 明…… 3	(187) (869)
旧中国の罪刑法定主義の存在について	佐 立	治 人…… 3	(1) (1078)

「大阪都構想」問題の政治学的考察	土 倉 莞 爾……	4	(1)	(1079)
動態的国際法秩序への解釈論的視座(2) ——カウフマンによる事情変更原則の分析——	西 平 等……	4	(60)	(1138)
環境刑法総論の基本問題(1)	川 口 浩 一……	4	(109)	(1187)
カンボジアにおける表現の自由に関する規制立法 ——刑法の名譽毀損と扇動を中心に——	木 村 光 豪……	4	(127)	(1205)
法令は民の命なり ——『商君書』定分篇の罪刑法定主義——	佐 立 治 人……	4	(1)	(1452)
18歳選挙権について考える	土 倉 莞 爾……	5	(1)	(1453)
全部義務者の破産と民法改正 ——一部代位弁済の場合の原債権と求償権の 規律を中心にして——	栗 田 隆……	5	(45)	(1497)
法人学説の再定位 ——独仏法人論の再読解とミシユーおよび サレイユの法人論・合有論——	後 藤 元 伸……	5	(136)	(1588)
動態的国際法秩序への解釈論的視座(3・完) ——カウフマンによる事情変更原則の分析——	西 平 等……	5	(178)	(1630)
憲法の私人間効力の射程(7)	西 村 枝 美……	5	(194)	(1646)
フロイトとスピノザ(Ⅲ-1)	河 村 厚……	5	(268)	(1720)
移行期のカンボジアにおける 集会の自由の受容と変容 ——平和的集会法を中心に——	木 村 光 豪……	5	(294)	(1746)

関西大学法学論集 第65巻 総目次

一日も律無かる可からず ——旧中国の罪刑法定主義の国教化——	佐 立 治 人…… 5 (1) (1886)
『現代思想』(1966年)における清水幾太郎	土 倉 莞 爾…… 6 (1) (1887)
連盟期の国際秩序構想における モーゲンソー政治的紛争論の意義(1)	西 平 等…… 6 (42) (1928)
憲法の私人間効力の射程(8)	西 村 枝 美…… 6 (86) (1972)
カンボジアにおける コミュニティ・ジャスティス ——記憶と歴史の共有による和解の促進——	木 村 光 豪…… 6 (133) (2019)
研究ノート	
オバマ政権とジェンダー・バランス	大津留(北川)智恵子…… 1 (55) (55)
国際秩序の動態的把握 ——アドルフ・ラッソンの国際法批判論——	西 平 等…… 2 (67) (399)
中国のマンドレイク ——死んだふりをして罪を逃れた話——	佐 立 治 人…… 2 (1) (682)
B級戦犯死刑執行関係書類	永 田 憲 史…… 4 (165) (1243)
ドイツ法における法典化後の経営判断の 原則について	福 瀧 博 之…… 4 (18) (1435)

判例研究

運転者がアルコールの影響により正常な運転が困難な状態であることを認識しながら行なった被告人の了解および黙認行為が、危険運転致死傷罪の幫助にあたるとされた事例

——最決平25年4月15日刑集67巻4号437頁——

山下裕樹…… 6 (177) (2063)

翻 訳

真実、正義、賠償そして再発防止の保障の促進に関する国連・特別報告者の報告書(1)

角田猛之…… 1 (76) (76)
木村光豪

ミヒャエル・パヴリック
『市民の不法』(7)

飯島暢…… 1 (175) (175)
川口浩一
山下裕樹
松生光正

マーク・フィリップ・ヴェラー
「継続的契約の解約告知における継続の利益——日本の一般条項とドイツの解約告知の制限——」

寺川 永…… 2 (80) (412)

ライナー・ツァツィック
「行動規範の概念に関する批判的覚書」

飯島 暢…… 2 (122) (454)

クリスタ・トブラー
「リスボン条約と消費者法へのその影響」

カライスコス・アントニオス…… 2 (150) (482)

ミヒャエル・パヴリック
『市民の不法』(8)

飯島 暢…… 2 (165) (497)
川口 浩一
松 生 光 正

ニューヨーク州死刑委員会報告書（抄訳）

永 田 憲 史
 後 藤 貞 人
 正 木 幸 博…… 3 (227) (909)
 陳 崎 浩 司
 唐 谷 恭 史
 水

ニン・トマス「準備はいいか！ ニュージ
 ランドにおけるユニークな統治秩序として
 のハプとイウイの出現」

角 田 猛 之…… 3 (265) (947)

クリスティアン・フェルスター
 「ドイツ法における撤回権の現在
 —EU 消費者権利指令の国内法化」

寺 川 永…… 3 (336) (1018)

デヴィッド・グリーンリントン
 「自然の定義と環境法の境界」

角 田 猛 之…… 4 (236) (1314)

ミヒャエル・パヴリック
 『市民の不法』（9）

飯 島 暢
 川 口 浩 一…… 4 (266) (1344)
 山 本 和 輝

クレア・チャーターズ「マオリに対する
 受諾者義務と2004年前浜・海底法：
 比較検討および前浜・海底法によって
 マオリが失ったもの」

角 田 猛 之…… 5 (332) (1784)

ミヒャエル・パヴリック
 『市民の不法』（10）

飯 島 暢
 川 口 浩 一…… 5 (385) (1837)
 山 本 和 輝

アンドリュー・エルエティ
 「伝統的な土地に対する先住民の権利の承認：
 国際条約上の諸機関による諸国家の評価」

角 田 猛 之…… 6 (198) (2084)

ミヒャエル・パヴリック
『市民の不法』(11)

飯島暢
川口浩一…… 6 (240) (2126)
山本和輝
松生光正

資 料

西夏朝の立法・刑罰・裁判

佐立治人…… 1 (201) (201)

ホセラモン・ベンゴエッチャ「多元論者の憲法
パラドクスとコスモポリタン・ヨーロッパ」
論文の翻訳と関西大学でのセミナー,
講義資料(1)

角田猛之…… 1 (209) (209)

法文化のフロンティア・千葉正士

——千葉正士先生追悼プロジェクト(3・完)——

角田猛之…… 1 (263) (263)

施設見学記録(平成二五年分)

永田憲史…… 1 (1) (1)

オニャーティ・国際法社会学研究所の紹介

——国際法社会学マスターコース・プログラム,
研究所でのワークショップおよびホセラモン・
ベンゴエッチャの比較法文化に関する講義紹介

角田猛之…… 2 (190) (522)

ホセラモン・ベンゴエッチャ「ヨーロッパの
夢の終焉とユーロ危機への目覚ましコール」
論文の翻訳と関西大学でのセミナー,
講義資料(2)

角田猛之…… 2 (255) (587)

施設見学記録(平成二六年分)

永田憲史…… 2 (12) (671)

ドマの LEGUM DELECTUS について(一)

岡 徹…… 3 (17) (1062)

ドマの LEGUM DELECTUS について(二)

岡 徹…… 4 (62) (1391)

関西大学法学論集 第65巻 総目次

最高裁において昭和二〇年代中葉に確定した
死刑判決一覧

永田憲史…… 5 (15) (1872)

金朝の立法・刑罰・裁判

佐立治人…… 6 (274) (2160)

最高裁において平成二六年に確定した
死刑判決一覧

永田憲史…… 6 (1) (2190)

紹介

「特別知識」に関する最近の文献(1)
—— Günther Jakobs, 「知識による管轄？」 ——

川口浩一…… 6 (282) (2168)
森川智晶

書評

水島治郎著
『反転する福祉国家：オランダモデルの光と影』
(岩波書店, 2012年)

土倉莞爾…… 2 (303) (635)

執筆 者 紹 介

土 倉 莞 爾	関 西 大 学 名 誉 教 授
西 平 等	関 西 大 学 教 授
西 村 枝 美	関 西 大 学 教 授
木 村 光 豪	関 西 大 学 大 学 院 生
山 下 裕 樹	関 西 大 学 大 学 院 生
角 田 猛 之	関 西 大 学 教 授
飯 島 暢	関 西 大 学 教 授
川 口 浩 一	関 西 大 学 教 授
山 本 和 輝	立 命 館 大 学 大 学 院 生
松 生 光 正	九 州 大 学 教 授
佐 立 治 人	関 西 大 学 教 授
永 田 憲 史	関 西 大 学 教 授
森 川 智 晶	関 西 大 学 大 学 院 生

〈法学会記事〉

公法研究会

〈日時〉 平成二十七年九月十日 (木)

午後三時～午後五時

〈場所〉 関西大学法文研究室二号棟六階会議室

〈報告〉 「カンボジアにおけるコミュニティ・ジャスティス

——記憶と歴史の共有における和解の促進——

木村光豪氏

(関西大学大学院法学研究科博士後期課程)

〈出席者〉 (五十音順)

市原、竹下、角田、安田